シテ帶紅色ヲ呈ス。近ク其ノ一部ヲ東京科學博物館ニ送リ一般ノ閲覽ニ便ゼントス。

○はこねよし越後ニ產ス　(久内清孝)

はこねよし (*Phragmites Nakaiana* HONDA) ハ昭和4年ニ中井博士ガ、相州箱根山中ノ濕原ニ發見シテ、其檢討ヲ本田正次氏ニ委ネ、本田氏ハ精檢ノ結果上記ノ學名ヲ與ヘ、中井博士ノ見解ニ賛同シタルニ始マル。其特徴ハ、全株ニ現ルヽモ、其一ハ葉縁粗澁ナラザル點ニアリ。爾來他ニ產スルヲ耳ニセザリシ所、余ハ本年10月18日新潟縣中魚沼郡田澤村字倉下ニ之ヲ得タリ。此地ハ上越線石打驛ニ下車、西ニ上野鑛泉ヲ經テ十二峠ヲ突破シテ下リタル、陷沒ニ依リ生ジタル小盆地ニシテ、細流ノ涵流ヲ横斷シテ間モナキ濕地ナリ。十二峠ヲ正ニ下ル右側ニモ、よしノ繁殖ヲ見ルモ、之ハ普通品ニシテ、本品トハ別ナリ。本品ハ葉縁粗澁ナラザル特長ノ外ニ、全株瘦形ニシテ、葉幅普通品ニ比シヤヽ細ク、且ツ葉身長キ感アルノミナラズ、葉色マタ普通品ノ如ク灰色ヲ呈セズ。

○こめひしばニ就テ　(津山　尚)

本誌ニめひしば屬ノコトヲ書イタ時ニ、こめひしばニ就テ明カナ誤ヲオカシタノデ、ココニ謹ンデ訂正スル。昨年ノ夏ニ自身デコノコトハ判ツタガ、最近牧野先生モ亦御注意下サツタ。小生ノなよめひしばノ名ハ不用デこめひしばト同ジモノデアリ、又小生ノ考ヘテキタめひしばノ一部モ又こめひしばデアツタ。

大井氏ハこめひしばハ瘦穗ノ軸ガ平滑デアル點ヲ めひしばトノ區別點ニシテキラレル。コレハ多クノ場合ウマクアテハマル。コノ他ニ こめひしば ハ全體ガ比較的ニ小形デめひしばニ見ラレル樣ナ靑味ガカツタ色ガナク單ナル綠色デアリ、又比較的ニヨク匍フ。葉鞘ハ節間ノ長サニ比シテ短カク、葉ハ中央部ガ幅ガ廣ク基部ハ狹クナツテキル。瘦穗ノ數ハ2-5デ少ク、小穗ハソノ上ニマバラニツイテキル。めひしばモ時ニ色々ニ變ルノデ乾腊標本デハ、ソノ貧弱型ト間違ヘヤスイガ、ソノ時デモ葉ノ形ハ信賴デキル樣デアル。

東大デハ松村先生ノ時代カラ こめひしば ガ めひしば ノ一型ニ間違ツテ當テラレテキタコトハ前ニ小生ガ述べタ通リデアル。シカシ牧野先生ハ初メカラ正シイ認識ヲモツテキラレタノデアルシ、又ソノ名デ人ニ廣ク敎ヘテキラレタノデアルカラ、コノ混同ノ故ニこめひしばノ名ヲ捨テテなよめひしばヲトル理由ハナイト思フ。

南日本植物雜報 (其一)　(土井美夫)

○屋久島產ノはるがや屬植物　(土井美夫)

屋久島產ノはるがや屬植物ニ就テハ大井博士ガ本誌第17卷第9號ニ「邦產くさよし族トいね族」ト題スル論文中標本ノ時期若イタメ種類ノ決定ヲナサレズニキル。コノ標本ハ筆者ガ昭和7年7月28日宮之浦岳山頂部デ採集シタモノデアル。其後筆者ノ標本ヲ整理中昭和8年8月9日同處デ採集シタ完全標本ガ見出サレタノデ大井博士ノ許ニ送ツテ御見ヲモトメタ處いしづちかうぼう (*Anthoxanthum sikokianum* OHWI) デアルコトガ分ツ